

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター—宮市立いずみ学園		
○保護者評価実施期間	2024年12月19日		～ 2025年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・市単独事業として実施しているため、定員が多く、また、基準以上の児童指導員及び保育士の配置に加え、複数の専門職員等を配置できていること。	・様々な職種の職員が色々な視点から見ることで育ちを理解し、一人ひとりに合わせたきめ細やかな支援を行っている。また、年齢でなく、こどもの状態等に合わせたクラス編成している。	・施設の面積に限りはあるが、工夫してクールダウンするための「何も無い空間」の確保を検討したい。
2	・保護者に対してアセスメントを適切に行い、ニーズや課題を客観的に分析して支援計画を作成したり、保護者支援を行っていること。	・定期的に懇談会があり、保護者との話し合いの元、家庭の状況をふまえ、そのこどもに合った計画を作成できている。	・職員の資質向上を図るため、可能な限り研修受講の機会を設けていく。
3	・紙媒体だけでなくSNS等を活用して、行事予定や緊急連絡などの情報を保護者に発信していること。	・天候等による送迎バスの中止連絡も、保護者のスマホに送信している。	・保護者への情報発信内容の工夫・充実を図りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設が老朽化していること。 スペースに限りがあること。	・十分な予算の確保。	・必要な修繕を速やかに行っていく。
2	・就学時の移行の際に、小学校や特別支援学校(小学部)との間で情報共有しているが、就学先の情報を知る機会がない場合があること。	・引き継ぎは書面で行っているが、移行先によって連携の機会が持てない場合がある。	・小学校や特別支援学校との連携を進める。
3	・きょうだい同士で行事での交流する機会がないこと。	・保護者支援は行っており、その中できょうだいについても家庭での困り感について相談援助をしている。また、園庭開放にきょうだい児にも来ていただき交流できる機会にはなっているが、しっかりと周知ができていなかった。	・相談支援において、繋げる社会資源を把握する必要がある。 ・園庭開放にてきょうだい児の交流の場となるように、情報発信をする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター宮市立いずみ学園				公表日	2025年3月26日	
		利用児童数	33 (2025年1月31日時点)		回収数	31	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3	0	0	・集会室がもう少し広ければ良かった。 ・園庭の遊具色々あって楽しそう。 ・狭い、運動と食事の場が別だと嬉しい。 ・もう少し広いと良いと思うが、目が行き届くという意味ではちょうど良い。	・養育室、集会室共に広さは十分ではないが、基準は満たしている。集会室については、時間を区切ってクラスごとに使うなど、配慮している。 ・子どもたちが楽しめる遊具を購入して、遊びが充実するようにしている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	4	1	0	・手厚く見てもらえて安心している。 ・限られた人数の中での配置なので難しいとは思いますが大変な分少ないのかなと思う。	・職員の配置数は基準以上である。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	4	0	3	・建物が古く、通路が狭いので改善点は多い。 ・トイレなども使いやすくて良い。	・老朽化したバルコニーを修繕した。今後必要に応じて適宜修繕をしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	26	4	1	0	・古い ・トイレが臭く、動物園みたい。 ・子どもたちは手を口に持っていつて色々触るので気になるが、子どもたちに合わせた空間になっている。 ・キレイに掃除されている。	・トイレは清潔を保つために毎日、掃除と消毒をしている。消臭剤を置いたり、換気を十分にするよう心掛けている。 ・子ども用トイレの改修を予算化した。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1	0	1	・担当の先生はじめ、子どもを理解しようとしてくれている。	・職員研修により専門性の向上に努めている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	2		・支援内容に沿った支援プログラムの公表を今後も継続する。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	0	0	0	・送迎、面談、連絡帳などでニーズを伝え易い。	・職員全体で情報を共有し、子どもを理解することに努力している。 ・送迎、面談、連絡帳などでニーズを把握し、それに対して支援することに努めた。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	0	0	0	・家族のことも相談にのってもらい有難い。	・ガイドラインの項目に沿って、具体的な支援内容の設定に努めた。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		・適切な支援を今後も継続する。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	3	0	1		・今後も職員間で話し合い、児に合わせた活動プログラムを行うよう努力していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	30	1	0	0	・10月から1月まで保育園交流があり、月1日バスに乗って交流したり、6から2月まで木曜日午前中だけ交流に行く機会がある。 ・クラスで保育園に出かけるのは、感染症が流行する前の時期が良いと思う。	・親子交流、クラス交流は継続して、積極的に交流する機会を設けていく。 ・保育園に出かける時期や回数を検討した。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	1		・丁寧な説明に努めるよう今後も継続する。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0		・今後も保護者への丁寧な説明に努めていく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	0	0	1		・今年度は当センター主催のペアレントプログラムに2名の保護者が参加。来年度以降も参加してもらえるように体制を整えていく。研修会の計画も継続していく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1	0	0	・相談事や問題点、嬉しい報告を伝え易い。 ・連絡帳での詳細報告や何かあれば電話をもらえるので有り難い。 ・とても細かく教えてもらえる。	・日頃から、保護者と園との間で子どもの状況を伝え合うことや、共通理解に努めている。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事や問題点、嬉しい報告を伝え易い。 ・面談で支援計画の振り返り、次期の計画内容を話したり、相談することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会、家庭訪問等、定期的に行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親も保育士から褒めてもらえるので、頑張ろうと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続する。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	8	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同志の交流機会は多いが、きょうだい児への支援はあまりない。 ・保護者の交流の場はしっかり設けられているが、きょうだい同士の交流機会は少ない。 ・保護者の交流に支援はあるが、きょうだい同士は分らない。 ・きょうだい同士はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい児の状況も丁寧に関き取り、必要な支援に繋げるように努めた。 ・園庭開放にて、きょうだい同士の交流ができる場を設けている。もっと情報を発信していくようにする。 ・今後、きょうだい同士が交流できる場を検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいる事に対してすぐに相談の場を設けてくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ適切な対応を常に心掛け、職員間で共有することに努めている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあれば電話をもらえるので有り難い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もより丁寧な説明を心掛けていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・親が知ることのできない先生の頑張りなどがマチコミで発信されたら良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を検討し、改善しながら、しっかりと配信していくことを継続していく。 ・自己評価の結果はHPで公表していることを伝える。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も守秘義務の遵守、書類の管理を徹底していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は定期的の実施されているようだが、マニュアルはよくわからない。 ・感染対策は弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策BCPを作成して、保護者に周知した。 ・各種事態を想定した訓練を定期的に行っている。 ・マニュアルはいつでも閲覧できることを周知したい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は定期的の実施されているようだが、具体的な話を聞く機会がないのでわからない。 ・親が大勢来ているときの訓練も一度くらいあっても良いと思う。 ・色々な場面を想定して訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訓練は継続する。 ・災害時を想定した保護者への引き渡し（お迎え）訓練を行っているが、訓練の想定事態について検討したい。 ・訓練の様子等を保護者に伝えていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続するとともに、マニュアル類はいつでも閲覧可能できることを保護者に周知したい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなケガでもその日に電話でお話をしてくれるので安心です。 ・電話連絡があまりに細やかに逆に恐縮してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や怪我の発生に際しては、看護師による確認とともに保護者へは速やかな連絡と正確な情報伝達に努める。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・とても安心・落ち着いているように思う。 ・いずみに通うようになってから笑顔が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学園がこどもにとって安心でき、意欲に繋がっていくよう、今後も鋭意努力していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スキップしてうれしそうに通っている。 ・バスに乗ることや先生たちと散歩や追いかけっこすることをすごく楽しみにしている。 ・ぐずる時はあるが、すぐ機嫌よく楽しそうに遊んでいる。 ・とても楽しく通っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学園がこどもにとって安心・安全でのびのびと自分の力を発揮できる場であるよう、今後も鋭意努力していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもいずみ学園に助けられている。 ・とても感謝している。 ・今後も利用したい。安心して預けられる。 ・ありがたく心強く思っている。 ・バスの到着時刻を把握するために、バスの位置がWeb上でわかるシステムを導入してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の子育ての良き理解者、伴走者であるよう、今後も鋭意努力していく。 ・バスの位置情報システムの導入は難しいが、マチコミによる運行状況の伝達に努めたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター―宮市立いずみ学園		公表日	2025年3月26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	3	・行事の際に保護者が入室すると狭くなってしまうが、通常の療育では活動場所を分けるなどして工夫している。 ・廊下や渡り廊下、玄関などクールダウンエリアとして活用している。	・定員12名のクラスでは、行事の際には大人が多いと圧迫感がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	2	・年齢でなく、こどもの状態等に合わせてクラス編成されている点。 ・児発センターは、概ね障害児の数を4で除して得た数以上の児童指導員及び保育士の配置が必要（いずみ学園の場合9人以上）であるが、基準以上の配置に加えて複数の機能訓練担当職員・看護師の配置をしている。	・クラスによっては他の保育士より担当児の数が多くなっている職員もあり、人手がもう少しあると良いと思うときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	19	5	・段差・鍵など、常に危険予測を行いつつ安全確保に努めるとともに、必要に応じ、改修や改善を行っている。	・設備等随時改修されているが、建築時期及び築年数経過により困難な箇所もある。段差がある箇所もあるが、こどもの姿勢保持、予測機能を育む上では必要と感じる。 ・クラスから廊下への扉のカギが緩くなってきた。こどもが急にとび出さないように修繕が必要。 ・トイレの排泄場所と衣服を脱着する場所が離れている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22	2	・施設修繕等の必要性については、適宜対応している。 ・今後も引き続き、こどもたちの姿に合わせ、安心・安全に過ごせる環境を整備していくよう努める。	・築年数経過のため限界がある場合もあるが、心地よく過ごせる環境になるよう努めたい。 ・急に動く児が多いため、もう少し広い療育室だと良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	2	・空き部屋がないため、廊下等も工夫して使用している。 ・自立課題のスペースが個別で使えるようになっているため、クールダウンにも使用できている。	・個別の部屋が少ないが、使用は認められている。 ・クールダウンをするための「何も無い空間」はないため、場所を確保するのが難しいときがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	1	・問題や気になることは会議等で職員間共有し、改善対策を話し合っている。	・今後も継続する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	0	・保護者向け評価表はもとより、普段から保護者の意向をほ丁寧に関心することを心掛けており、その中で、業務改善すべきところについては対応していく。	・今後も継続する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	1	・職員が意見を話しやすい環境であるよう努めている。	・今後も継続する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	24	・監査があり結果は共有され、改善策もとられているが、第三者による外部評価は行っていない。	・第三者評価の実施は今後検討したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	24	0	・研修機会を多く設けており、職員の研鑽が図られるよう努めている。 ・園内研修、主査会主催研修の充実を図るとともに外部研修についても積極的に参加している。	・今後も継続する。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	24	0	・できるだけわかりやすい文章にして公表している。	・今後も継続する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	24	0	・こどもの発達状況を適切に把握するとともに、定期的に開催する懇談会において保護者との話し合ったうえで、支援計画を作成している。	・今後も継続する。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	24	0	・クラス会を定期的に（毎週）行い、情報共有できている。また、専門職の職員とも話し合う場を設けている。	・今後も継続する。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	0	・一人ひとりの支援計画は必ず職員間で共有し、連携をとりながら支援している。	・今後も継続する。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	24	0	・発達プロフィールや新版K式を用いている。 また、こどもの行動を記録しながら個々にあった支援を行っている。	・今後も継続する。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	24	0	・こどもの発達や保護者の意向に合わせた支援を項目ごとに設定している。	・今後も継続する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	0	・クラス会の中でクラスの状況を共有しながら、特性・育ちに合わせた活動プログラムを行っている。	・今後も継続する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24	0	・特性・育ちに合わせて行っている。 ・在籍中の個々の活動を記載し、固定化しないよう振り返りを行っている。	・今後も継続する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24	0	・集団の中で育てたいこと、個別の中で丁寧に育てたいこと、それぞれの活動のねらいを考えながら行っている。	・今後も継続する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	24	0	・打ち合わせを毎日行い、チームで連携している。	・今後も継続する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24	0	・クラス内でその日の出来事を話して共有できている。 ・振り返りを行い、改善点も話し合っており良い支援になるよう共有している。	・今後も継続する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24	0	・日々のねらいや活動内容に沿って記録をとり、次につなげている。	・今後も継続する。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	24	0	・モニタリングを行い、その都度保護者との話し合いの中で支援計画を見直している。	・今後も継続する。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24	0	・担当者会議や医療、学校、保育園との話し合いには担当や児発管などで参画するようにしている。	・今後も継続する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	24	0	・保護者の同意を得て、連携している。	・今後も継続する。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	0	・保育園交流に参加している園と保護者双方と話し合い、連絡を取り合うようになっている。伝えづらいことはないかの確認もし、安心して参加できるようにしている。	・今後も継続する。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1	・書面での引継ぎに加え、就学後に移行先に訪問し連絡会を行っている。ただし、移行先によってはその機会がない場合がある。	・引き継ぎは書面で行っているが、就学先の情報を知る機会がない。 ・連絡会が開催できない移行先に対しては、働きかけを積極的に行っていく。 ・小学校との連携がもっとあると良い。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	24	0	・研修の機会を作ったり事業所間での見学等を行っている。	・今後も継続する。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	24	0	・専門家とのケース検討を行ったり、積極的に外部研修へ参加している。	・今後も継続する。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	24	0	・子ども部会に参加したり、部会での研修や会議等にも参加している。	・今後も継続する。	

関係機関 や保護者との 連携	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	24	0	・定期的に参加できるよう保護者に参加を勧めている。 ・保育園とのクラス交流や親子交流の場が定期的に設けられている。	・開催時期について検討しながら、今後も継続する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	24	0	・連絡帳や対面、電話等で伝え合うようにしている。	・今後も継続する。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	24	0	・ペアレントプログラムを行い参加される保護者もいる。 ・療育支援事業等保護者への研修も行っている。	・今後も継続する。
保護者への 説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24	0	・体験入園やアセスメント時に説明をしている。	・今後も継続する。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24	0	・懇談会にて意向を確認している。	・今後も継続する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24	0	・計画を示しながら説明し、同意を得ている。	・今後も継続する。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	24	0	・約2か月ごとに懇談会等を行っている。 また、必要に応じて随時面談し助言等を行っている。	・今後も継続する。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22	2	・保護者支援は行っている。 ・きょうだいについては、家庭での困り感について相談援助をしている。 ・研修会、親子遊び、施設見学等保護者会の行事、また、クラス懇談会において保護者同士で交流する場がある。	・きょうだい同士で交流できる行事は今のところはないが、毎週土曜日の園庭開放が交流する機会となっている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24	0	・その都度、迅速に対応するようにしている。	・今後も継続する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	24	0	・マチコミで、園と保護者間で情報共有できている。 ・園だより、クラスだよりを発行している。	・今後も継続する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24	0	・個人情報の漏えいや、守秘義務については全職員が留意している。	・今後も継続する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24	0	・“伝わる”ことを大切に個々にあった手段(ジェスチャー、絵カード、スケジュール等)を心がけている。	・今後も継続する。
非常時 等の 対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	8	・該当行事なし ・センター全体では行っている。 ・センターでの、地域支援事業、未就園児対象の遊びの会等を行っている。	・現在、該当する行事を行っていないが、隣接障害者施設のイベントに合わせた施設開放を検討したい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	0	・定期的に訓練を行い、改善点を話し合い次に生かせるようにしている。 ・策定した訓練内容を園だより説明会にて周知している。	・今後も継続するが、一層の保護者周知に努めたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	24	0	・BCPを策定しセンター全体で訓練を行っている。	・今後も継続する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24	0	・アセスメントで確認している。	・今後も継続する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24	0	・今年度該当者はいないが、必要に応じて医師の指示に基づいた対応をしている。	・今後も継続する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	0	・定期的に訓練を行いながら、職員間で安全に支援できるよう連携している。	・今後も継続する。

非常時等の対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	0	・こどもの安全のために、具体例を示しながら家庭との連携に努めている。	・今後も継続する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24	0	・ヒヤリハットを記載し、話し合いをして再発防止を検討している。 ・ヒヤリハットの事項を職員間で共有し、再発防止に努めている。	・今後も継続する。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	24	0	・研修で学んだ内容の伝講をし、適切な対応を心掛けている。 ・虐待防止のための研修会や、定期的にチェックリストをつける等、職員の意識向上に努めている。	・今後も継続する。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	24	0	・懇談会でこどもの様子を確認しあい同意を得ている。	・今後も継続する。